

業務実績報告書

提出日 2020 年 1 月 10 日

1. 職名・氏名 特任教授 大久保清子2. 学位 学位 博士 専門分野 経済学
授与機関 福井県立大学、授与年月 2014年3月25日

3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護管理論 （2単位（30時間）毎年開講）大学院1年生（2016年～2018年）	
② 内容・ねらい（自由記述） 社会や医療情勢の動向を概観し、今日の看護管理に求められる主要な要素である、医療・看護の質の管理、人的資源管理、効率性の管理の諸理論について理解を深め、看護管理の現状と課題を明らかにし、目標を捉えることができるよう考察する。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 講義では諸理論を説明するとともに、臨床の現象と理論の結びつきを参加者間の討議等を通じ理解し実際に活用できるように、また本人の気づきが多くなるよう対応。 (2016年；4名対応) (2017年；3名対応) (2018年；5名対応)	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護政策論 （2単位（30時間）毎年開講）大学院1年生（2016年～2018年）	
② 内容・ねらい（自由記述） 看護職が専門的な能力を十分に発揮することで、社会に貢献しながら人々のニーズに応えるべき質の高い看護の提供を実現化するための法律や制度、政策の概要を理解する。そして、看護の専門職として有する責務を認識し、課題解決に向けた方策を探求する。また医療政策と政策形成過程における看護職の役割について考察する。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 社会情勢や人口構造問題から医療情勢についての理解を深めて、看護職としてのこれからの課題を、資料やダイアログから看護職の役割について理解し、問題解決の方法論から解決に向けての行動論等が思考できるよう対応。 (2016年；4名対応) (2017年；2名対応) (2018年；5名対応)	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学演習 （2単位（60時間）毎年開講）大学院1年生（2016年・2017年）	
② 内容・ねらい（自由記述） 文献を基に、科学的に解明するための観察法、調査法、実験方法を学び、自己の研究テーマおよび研究内容から、研究方法に対する理解を深め、論理的思考能力を養う。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 本人の疑問や関心のある研究に取り組めるように、研究に取り組むプロセスを論理的に構造的に考え、また知識が増すようにサポートする。 (2016年；2名対応) (2017年；2名対応)	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学特別研究 （10単位 毎年開講）大学院2年生（2016年～2018年）	

<p>② 内容・ねらい（自由記述） 文献学習やグループ討議等でのプレゼンテーションを踏まえながら、各自の研究課題とプロセス段階に応じた指導を行うことにより、科学的根拠を踏まえ、論文を論理的に構成できる。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 学んだ知識が生かせるように、また不足している知識や推論、思考力や構成力が得られる機会とし、個人指導を取り入れながら取り組んでいる。 (2016年；1名対応) 「高周波音を含むガンダム音楽の聴聴が自律神経機能および気分転換に及ぼす影響」 (2017年；2名対応) 「短時間勤務制度を利用している看護職のキャリア成熟の実態と関連要因」 「看護業務における医療安全行動に関するベネフィット認知の内容」 (2018年；2名対応) 「臨床看護師における配置転換と自己効力感との関連」 「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師における職業性ストレスとワーク・ライフ・バランスとの関連」</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学特論（4単位（60時間）毎年開講）大学院1年生（2015年～2017年）</p>
<p>② 内容・ねらい（自由記述） 人間をとりまく生物的や社会的環境と健康との相互浸透関係を、歴史的視点を踏まえ考究することで、看護における主要な概念である、人間や健康や環境に対する理解を深めるとともに、科学的思考能力が養えるよう考察する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 人に対する健康や環境に対する理解を深めることで、看護の提供の場である臨床現場において環境やシステムの変革の必要性が気づけるように、またその問題や課題をみいだすことができ科学的思考から考察できるよう実際例を使用。 (2016年；2名対応) (2017年；2名対応)</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント学演習（2単位（60時間）開講時後期）大学院1年生（2018年）</p>
<p>② 内容・ねらい（自由記述） 文献を基に、科学的に解明するための観察法、調査法、実験方法を学び、自己の研究テーマおよび研究内容から、研究方法に対する理解を深め、論理的思考能力を養う。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 本人の疑問や関心のある研究に取り組めるように、研究に取り組むプロセスを論理的に構造的に考え、また知識が増すようにサポートする。 (2018年；5名対応)</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント学特別研究（10単位 開講期 通年）大学院2年生（2019年）</p>
<p>② 内容・ねらい（自由記述） 文献学習やグループ討議等でのプレゼンテーションを踏まえながら、各自の研究課題とプロセス段階に応じた指導を行うことにより、科学的根拠を踏まえ、論文を論理的に構成できる。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 学んだ知識が生かせるように、また不足している知識や推論、思考力や構成力が得られる機会とし、個人指導を多く取り入れ支援。 (2019年；5名指導) 「看護部長が看護師長への支援を通して自己成長を実感した対応の内容」</p>

<p>「臨床における看護職のパワーハラスメントと職務満足との関連」 「病棟看護師がとらえた師長の支援内容と組織風土との関連」 「PNS において新人看護師に関わる看護師の教育的役割遂行とバーンアウトとの関連」 「中小規模病院における医師・看護師間の連携と退院支援実践との関連」</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 看護マネジメント学特論 (4 単位 (60 時間) 開講時前期) 大学院 1 年生 (2018 年)</p>
<p>② 内容・ねらい (自由記述) 社会が求めるヘルスケアサービスの提供のために、保健医療福祉の政策を概観し必要な組織の構築や他組織と連携し協働するために看護の理念を掲げそれを具現化することができる能力を高める。また医療福祉経営やヘルスケアサービスの経営と質管理について概観し、保健医療福祉サービスのマーケティングや労務管理の知識を深める。また人材フローのマネジメントを理解し考察する。人の心理や行動特性を理解に危機管理を探究する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 保健医療福祉の政策動向を理解し、そして医療経営・医療保険制度と医療施設の経営を理解し探究できるように最新の動向や政策とその過程を提示し、看護管理上に与える影響を考察できるように取り組んだ。また看護現場の現状を分析・データ化し必要な経営分析が概観でき、組織目標から具体的な事業へ結びつけるように、経営管理者に必要な能力から戦略的な計画ができることを目指した情報と議論を通じて深めている。 (2018 年度 ; 5 名指導)</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 看護マネジメント実習 (2 単位 (90 時間) 毎年実施) 大学 4 年生 (2015 年～毎年)</p>
<p>② 内容・ねらい (自由記述) 療養生活を送る人々の多様なニーズに対し、安全で効率的な看護を提供するために必要な看護サービスマネジメントの実際を学ぶことを目的とし看護組織の形態と機能について、看護組織員の役割と機能について、看護師への教育とキャリア支援の実際や組織における患者の安全管理システム、医療事故防止対策の実際を体験し理解する。また医療および看護の質確保と経済の両立の実際について理解する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 実習施設の看護部と連絡を密にしながらか実習を進めている。学生の臨床での基礎知識となるように、病院組織および看護組織についての概要、および組織の目標等について、また実習する病棟の組織や機能、特徴などについて事前に説明を受けるように実習病院と交渉している。そしてチームの一員として看護サービスを体験し、医療安全対策に向けたカンファレンス等への参加することで、実際が深まるようにしている。実習終了後に、学生が各々の実習施設で体験したことをもとに報告会を行い、体験の共有化をはかり効果を高めている。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 看護学原論Ⅱ (2 単位 (30 時間) 毎年実施) 1 年生 (2015 年～毎年)</p>
<p>② 内容・ねらい (自由記述) 看護の歴史的変遷や保健・医療・福祉システムの現状を踏まえて、これからの看護を展望する。またナイチンゲール以降の看護理論に関する文献をもとに、看護のメタパラダイム (中心的概念) である人間・環境・健康・看護について考究するために、看護の基本となる概念をとらえ、看護観の確立を目指す。看護を実践し発展させるための思考能力を育成することで保健・医療・福祉システムにおける看護の役割を考える。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 看護の歴史では、原始、古代、中世、近世における看護の特徴を、また近代や現代における看護への変遷に興味をもてるよう PPT で図や写真等を多く使用し講義する。看護理論の変遷とともに保健・医療・福祉システムと看護活動が展望できるように進めている。</p>

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 看護管理学 (1 単位 (15 時間) 毎年実施) 4 年生 (2015 年～毎年)
② 内容・ねらい (自由記述) 医療現場で実践される看護職の管理的機能やマネジメントについて理解し、その効果的な提供のための看護組織の構造や特徴、さらに、時代に対応した質の高い看護サービスや医療サービスを提供するための方策を看護管理の立場から考える。病院看護部の組織構造とその特徴や看護管理者の役割がわかり、マネジメントの要素とプロセスがわかる。質の高い看護サービスの提供を実践に結び付ける必要性がわかり、医療チームの協働や連携と看護職の日常的業務遂行上の管理的機能がわかる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 看護管理の変遷と看護管理学を学習する目的を理解した上で、看護マネジメントから看護サービスの質の管理と評価、看護の経営、看護における人的資源の活用や労働安全衛生、働く環境整備等について臨床の現状と結びつけて講義している。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅱ (2 単位 (90 時間) 毎年実施) 2 年生 (2015 年～2017 年)
② 内容・ねらい (自由記述) 看護過程を展開するための基本的能力を修得するために、対象の事実を正確に把握し、主体的、観察的立場から事実の意味を考え、対象の全体像をイメージできる。人々の気持ちや考えを認識し理解し自分の意図や気持ちを適切に伝達できる。対象に優先すべき看護は何かを考え、対象の気持ちや生活リズムを大切にしながら対象に起こりうる危険を予測し整えることができる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 対象に優先すべき看護は何かを考え、対象の気持ちや生活リズムを大切にしながら学生と共に実施し自信につなげている。また起こりうる危険を予測し整えることができる様に予測したことをその都度説明している。実習体験の評価を通して、看護者としての自己認識を高めるように支援。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 衛生関係法規 (1 単位 (15 時間) 該当年実施) 2 年生 (2017 年該当)
② 内容・ねらい (自由記述) 我が国の保健医療福祉の諸制度について理解を深め、医療従事者として臨床で業務する指針とし、患者や家族に対し各種社会保障制度について適切に助言できることを目指す。(2016 年は 1 名対応)
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 医事や看護、薬務、保健衛生、環境衛生、福祉サービス等について、法の概念について理解し法令と現状の乖離点等について演習問題で整理確認しながら進める。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 卒業研究 (3 単位 毎年実施) (2015 年～2018 年)
② 内容・ねらい (自由記述) 卒業研究では、自ら探求する態度と、研究能力の基礎を身につけることを目的とし、実習などの経験をふまえ、医療・健康に関する現象について、本人の興味があり取り組みたい研究課題を明確にしたうえで、文献検討・観察・調査・実践などの方法を用いて研究し、論文を作成する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 学生本人が興味あり望む研究をテーマとし、看護実践等からの問題意識を明確にし、さらに研究目的の焦点化ができるように支援。テーマにより倫理委員会の承認が必要な研究内容であれば書類整備の準備を早期から行う。そして研究目的に合った研究方法について理

<p>解し、研究を実施しその結果から考察を導くことができるよう研究の一連のプロセスを支援している。また一連の研究方法を理解することができるように個別に対応している。研究に取り組めるように、病院に同行し協力体制をとり、まとめる段階では個別対応を行い支援している。</p> <p>(2015年；4名) (2016年；3名)</p> <p>「精神看護学実習における看護学生の戸惑いとセルフ・エフィカシーとの関連」 「看護学生の臨地実習におけるヒヤリハットの実態と自意識との関連」 「介護老人保健施設での療養者への化粧実施による気持ちや行動変容への影響」</p> <p>(2017年；1名) 「看護学生の朝食接種状況が心身に及ぼす蓄積疲労との関連」</p> <p>(2018年；1名) 「看護学生の大学生生活の過ごし方と生きがい感との関連」</p>
<p>学術教養センター 教養ゼミ</p> <p>「人生100年時代を地域で支えるまちづくりを考える」講義</p>
<p>(2)非常勤講師担当科目</p>
<p>① 担当科目名(単位数) 開講学校名 「人的資源活用論」(4コマ) 青森県立保健大学 (2012年～2016年) 看護管理者教育課程セカンドレベル</p>
<p>② 内容・ねらい (自由記述) 第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力を高める。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 講義は、PPTを使用し理解しやすくしている。さらに事例を入れ臨床と結びつきやすくしている。資料は事前に配布し興味を持って参加できるようにしている。</p>
<p>④ 本学における業務との関連性 (自由記述) 本学における業務との関連性は無い。</p>
<p>① 担当科目名(単位数) 開講学校名 「保健医療福祉政策論」(4コマ) 石川県立看護大学 修士課程 (2007年～2017年) 看護管理者教育課程サードレベル (2018年)</p>
<p>② 内容・ねらい (自由記述) 制度・政策に影響を及ぼす看護管理者について、看護の国際化と看護管理者のリーダーシップや、国際貢献、職能団体による政策への影響力、制度改革のための管理者の役割が分かることを目指している。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 保健医療福祉の政策動向を理解することで、看護管理上に与える影響を考え行動できるための臨床の現状で必要な事項が分かり分析しデータ化することができ、また職能団体、行政機関等へ提示していくプロセスわかるよう具体的な事例を紹介しながら進めている。</p>
<p>④ 本学における業務との関連性 (自由記述) 本学における業務との関連性は無い。</p>
<p>① 担当科目名(単位数) 開講学校名 「看護管理・政策学講義 看護クオリティマネジメント論」(4コマ) 国際医療福祉大学 (2013年～2019年)</p>

② 内容・ねらい (自由記述)	看護職が病院経営を担う中で、看護管理の実際から看護管理の基本となる諸理論を学び、理論を具現化することを授業の中で行う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)	看護管理の基本となる諸理論を紹介し、管理プロセスの中で理論をどう反映させるのか、また臨床での管理事象からどの理論が活用されていたのか解説していく。
④ 本学における業務との関連性 (自由記述)	本学における業務との関連性はない。
① 担当科目名(単位数) 開講学校名 (2016年・2017年・2018年・2019年)	「看護管理論」(2コマ) 福井大学 認定看護師教育課程(慢性呼吸器・手術室) 「リーダーシップ論」(7コマ) 福井大学 認定看護師教育課程(慢性呼吸器・手術室)
② 内容・ねらい (自由記述)	看護の専門性を向上させるための、看護職を惹きつける魅力ある病院づくりそのプロモーションとは何か、その構築にあたりリーダーシップについてわかる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)	臨床現場での事例から、マグネットホスピタルに取り組む必要性とその実際について紹介。必要に応じてリーダーシップ型が選択でき実践する必要性を解説。
④ 本学における業務との関連性 (自由記述)	本学における業務との関連性はない。
(3)その他の教育活動	
内容	
講義	「医療経済論」「経済論看護サービスにおける経済性」4コマ (2012年～2018年) 埼玉県看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル
講義	「ヘルスケアシステム論Ⅰ」8コマ (2015年～2018年) 京都府看護協会 看護管理者教育課程フィアーストレベル
講義	「ヘルスケアシステム論Ⅱ」8コマ (2015年～2019年) 京都府看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル
講義	「医療経済論」 経済的評価 (2018年) 大阪府看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル
講義	「資源管理論Ⅰ」資源管理論 (2019年) 大阪府看護協会 看護管理者教育課程フィアーストレベル
講義	「人的資源活用論」「看護人事」「労務管理」8コマ (2008年～毎年) 新潟県看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル
講義	「ヘルスケアサービス管理論」「保健医療福祉サービス提供組織の仕組みと連携」 富山県看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル (2010年～毎年)
講義	「看護管理概論」「看護専門職論 認定看護師」(2010年～2018年) 青森県看護協会 看護管理者教育課程ファーストレベル4コマ
講義	「組織管理論」 (2019年) 青森県看護協会 看護管理者教育課程ファーストレベル4コマ
講義	「看護専門職論」「看護専門職の動向」(2013年～2018年) 福井県看護協会 看護管理者教育課程ファーストレベル8コマ
講義	「組織管理論」 (2019年) 福井県看護協会 看護管理者教育課程ファーストレベル4コマ
講義	「人的資源活用論」(2017年～2019年) 福井県看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル4コマ
講義	「経営管理論」「看護経営の今後のあり方」(2014年～2018年) 兵庫県看護協会 4コマ 看護管理者教育課程サードレベル
講義	「看護組織管理論」 (2017年～2018年) 岡山県看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル 4コマ

講義 「保健医療福祉政策論」(2014年～2018年)
岡山県看護協会 看護管理者教育課程サードレベル6コマ

講演

【2017年】

「的確な看護情報を提供するために」大学病院情報マネジメント部門連絡会議
「国際展開における日本の看護の強みと課題」 経済産業省
第3回海外における日本医療拠点の構築に向けた研究会
「働きやすい職場づくりのプロモーション」 敦賀市男女共同参画事業所推進員研修会
敦賀市男女共同参画センター 敦賀市企画制作部
「地域包括ケア時代で求められる看護師の力」
第3回 メディカル ジャパン介護・看護セミナー 大阪インデックス
「医療を取り巻く社会の変化と看護職に期待されること」 広島市 松尾内科病院
「看護と看護連盟；地域包括ケア時代看護職に求められる専門性」
平成29年度 福井県看護連盟通常総会
「看護管理者に求められる働きかた改革」全国自治体病院協議会 石川県支部
「住み慣れた地域でいきいきと暮らす秘訣」勝山男女共同参画 「夕涼み講座」
「いのち・くらし・尊厳をまもり支える 看護管理」福井県立病院看護管理者研修
「医療・介護に関わる職員のワーク・ライフ・バランス」済生会東北・北海道ブロック会議 201
「住み慣れた地域でいきいきと自分らしく暮らす」福井福邦銀行 さくら会
「ヘルスケアシステムの変革期における看護管理の役割」メディキャスト
「情報」と「記録」の徹底活用による看護の追求！」メディキャスト
「働きがいのある組織づくりー労働時間管理の工夫についてー」京都医療勤務環境改善研修会
「働きがいのある組織づくり」小松市民病院
「FBC ラジオキャンパスーようこそ県大研究室1」
「医療におけるワーク・ライフ・バランスを進めるために」医療マネジメント学会

【2018年】

「看護の質改善とデータ活用」日本経営 メディキャスト株式会社
「働きがいのある職場づくり」SMFG 病院経営セミナー
「働きやすい職場環境」京都第二赤十字病院 看護師長 係長研修
「結婚・出産しても看護師としてキャリアを積むために」福井大学
「FBC ラジオキャンパスーようこそ県大研究室2」

【2019年】

「看護職は生活と仕事の中で、どうキャリアを成熟させるのか」福井大学附属病院
「看護と融合する看護研究」日本看護研究学会 第32回近畿・北陸地方会学術集会
「看護研究のイノベーションー地域と融合する看護研究」 日本看護研究学会
第32回近畿・北陸地方会学術集会
「多職種連携における薬品の効果的な管理体制」看護薬理学カンファレンス2019in 大阪
「看護管理から見る看護記録」第23回日本看護管理学会インフォメーション・エクスチェンジ
「看護管理者の情報管理」第20回 日本医療情報学会看護学術大会
「結婚・出産しても看護師としてキャリアを積むために」 福井大学附属病院
「働きかた改革から考える看護管理者の対応」 日本経営
「看護職は生活と仕事の中でどうキャリアを成熟させるのか」 福井大学附属病院
「看護管理者の情報管理」第20回 日本医療情報学会看護学術大会

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日) 【2017年】 「いきいきと働きつづけられる職場づくり」大分看護大学紀要看護科学研究 vol. 15, 15-20 「診療情報をめぐる法的問題」日本診療情報管理学会誌 vol. 29.No. 1 13-19 (2017) 「看護教育におけるこれからの政策課題」日本看護協会出版会「看護」Vol. 69.No. 11 64-66
②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ出版年、出版社名)) 【2017年】 「予期せぬ急変・死亡時の現場対応マニュアル」 共著者有 担当; 総著 2016. 8. 10 MC メディカ出版 2016. 8. 10 【2018年】 「看護記録の活用術」情報を地域につなぎ多職種連携がうまくいく」 メディカ出版 2018年通巻 169号) ISSN1881-5766
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所)) 【2017年】 「医療におけるワーク・ライフ・バランスを進めるために」第19回医療マネジメント学会学 【2018年】 「看護業務における医療安全行動に関するベネフィット認知の内容」第22回日本看護管理学会 「短時間勤務制度を利用している看護職のキャリア成熟の実態と関連要因」第22回日本看護管理学会 【2019年】 「医療安全行動に関する看護業務におけるベネフィット認知の内容」第32回日本看護研究学会 「地域と融合する看護研究」日本看護研究学会 第32回 近畿・北陸地方会学術集会 「多職種連携における薬品の効果的な管理体制」看護薬理学カンファレンス 2019in 大阪 「看護管理から見る看護記録」第23回日本看護管理学会 「看護管理者の情報管理」第20回 日本医療情報学会看護学術大会
④その他の公表実績 【2017年】 「日本の看護が海を渡る」社会保険旬報 NO. 2662 発行 社会保険研究所 2017. 1. 1 p51 「診療報酬をめぐる法的問題」診療報酬管理 vol. 29.No. 1 13-19 (2017) 時事通信社 「これからの看護職の役割の展望と教育」2017. 8. 「看護師のしごととくらしを豊かにする」日本医療経営 2017. 10. 13 「看護教育におけるこれからの政策課題」日本看護協会出版会 Vol. 69.No. 1164-66(2017) 「配慮の必要な個人情報等の整理と説明」看護 日本看護協会出版会 (vol. 69, No. 2) p. 21 「予防の充実を! データで見る脳卒中の現状」看護 日本看護協会出版会 (vol. 69, No. 3) p. 21 「新年度を迎えて、新人看護師の意識教育を」看護 日本看護協会出版会 (vol. 69, No. 5) p. 21 「海外で展開—日本の看護の強みとは」看護 日本看護協会出版会 (vol. 69, No. 6) p. 21 「地域包括ケア時代に期待される新たな看護管理者の力」看護 日本看護協会出版会 (vol. 69, No. 7) p. 21 「社会情勢の変化に対応し、看護の新たな価値を創造」看護 日本看護協会出版会 (vol. 69, No. 9) p. 21 【2018年】

「継続から変革へ」一般社団法人日本医療経営実践協会「倫理と実践」2018.2 vol.12
(2) 学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動（担当報告名、担当学会（大会）名（開催年月日））
<p>【2017年】</p> <p>座長 看護サミット（2017.6.1）</p> <p>座長 医療マネジメント学会（2017.7.7）</p> <p>シンポジスト 「医療事故調査制度と看護記録」（日本診療情報管理学会 2017.2.24）</p> <p>【2018年】</p> <p>座長 医療マネジメント学会 一般演題（口演）「地域連携・福祉連携」15:30～16:20 7題</p> <p>座長 日本看護管理学会 一般演題（口演）13:25～14:10 第26群 質保証・医療安全③</p> <p>【2019年】</p> <p>座長 口から食べれたら 第23回日本看護管理学会</p> <p>座長 第23回日本看護管理学会 一般演題（口演）第26群 質保証・医療安全③</p> <p>座長 ナースコールを活用した働き方改革を考える 20回日本医療情報学会看護学術大会</p> <p>シンポジスト 看護師がすること、ICT・IoTに委ねること</p> <p>座長 テクノロジーと看護管理～人材育成～ 第20回日本医療情報学会看護学術大会</p> <p>座長 看護体制変更の実践報告 日本看護管理学会 第7会場</p> <p>座長 第39回日本看護科学学会 看護管理 第26群</p>
学会での役職など（学会名）
<p>一般社団法人 日本看護管理学会 評議委員（2011～2018）</p> <p>一般社団法人 日本看護管理学会 第24回学術集会企画委員（2018～2020）</p> <p>一般社団法人 日本看護管理学会 看護の適正評価に関する検討会（2017.3.11～2019.8）</p> <p>日本医療マネジメント学会 評議委員（2017.7.6～現在）</p>
学会・分科会の開催運営（担当学会（大会）名（開催年月日）、開催場所）
<p>日本看護管理学会 指定インフォメーション・エクステンジ5の運営担当</p> <p>第22回日本看護管理学会学術集会（開催 2018.8.23.24）</p> <p>開催場所；神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場。</p> <p>日本看護管理学会 第24回学術集会企画委員会委員（2018.12.7～学術集会終了時まで）</p> <p>日本看護研究学会；第32回 近畿・北陸地方会学術集会 学術集会長</p> <p>（開催 2019.3.9）開催場所；福井県立大学</p>
(3) 研究会活動等
①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））
一般社団法人 日本看護業務研究会 を設立 2015.12.4 承認 代表理事
②その活動による成果
看護業務と多職種の情報共有のための記録の標準化に向けてソフト開発中
(4) 外部資金・競争的資金獲得実績
<p>平成28年度 研究費 D 枠</p> <p>平成29年～30年度 研究費 A 枠</p> <p>平成30年度 戦略的課題研究（共同）</p> <p>令和元年度 戦略的課題研究（共同）</p>
(5) 特許出願
無し

5. 地域・社会貢献

(1) 学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） 財団法人 日本医療機能評価機構評価調査者委員(2005. 12. 1～2017. 3. 31) 内閣府 男女共同参画推進連絡会議議員 (2011. 6. 6～ 2017. 6. 7) 日本看護協会 副会長（再々任） (2011. 6. 6～ 2017. 6. 7) 日本防災士機構理事 (2011. 7. 1～ 2017. 6. 7) 看護系学会等社会保険連合監事 (2012. 4. 1～ 2017. 6. 7) 日本医療安全調査機構理事 (2012. 6. 1～ 2017. 6. 7) 日本脳卒中協会理事 (2013. 4. 1～ 2017. 6. 7) 日本医療経営コンサルタント理事 (2014. 8. 1 ～ 2017. 6. 7) 公益社団法人 福井県看護協会 顧問 (2015. 6. 20～2017. 6. 19) 経済産業省 海外における日本医療拠点の構築に向けた検討委員(2016. 6. 1～2017. 3. 31) 一般社団法人 日本医療経営実践協会 理事 (2011. 4. 1～ 現在) 福井県看護部長連絡協議会(設立発起)代表 (2010. 5. 20～ 現在) NPO 法人イージェイネット「働きやすい病院評価・認証」理事 (2014. 7. 1 ～現在) 一般社団法人 日本看護業務研究会 代表理事 (2015. 12. 1～ 現在) 福井県立病院経営評価委員 (2017. 2. 13～ 現在) 福井県済生会病院地域医療連携運営委員 (2015. 5. 1 ～ 現在) 日本看護協会「日本看護史第9巻」編集委員 (2019. 1. 21～ 現在)
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間） 財団法人 日本医療機能評価機構評価調査 委員 (2005～2017)
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） NPO 法人イージェイネット「働きやすい病院評価・認証」理事 (2014～現在)
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間） 公益社団法人日本看護協会（副会長 2011年～2017年6月） 一般社団法人日本看護業務研究会（代表理事 2015年～現在）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2) 大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座の開講（タイトル名、開催場所、開催日時） 【2017年】 公開講座（一般看護職・教員・学生） 1. 「日本看護協会の取り組み/平成30年診療報酬・介護報酬の方向性」福井県立大学 2017. 7. 1 講師 日本看護協会 会長 福井トシ子 246名参加 2. 「新しい看護学への挑戦・2」福井県立大学 2017. 7. 31 講師 東京大学大学院医学系研究科教授 真田 弘美 先生 187名参加 公開講座（看護管理） 3. 「看護業務の可視化～看護業務基準とDiNQL～」福井県立大学 2017. 5. 24 講師 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 川本利恵子 45名参加 4. 「病院経営に必要な取り組み」福井県立大学 2017. 6. 23 講師 福井県済生会病 事務部副部長・医事課長 酒井 光博 67名参加 公開講座（看護政策） 5. 「地域包括ケアシステムにおける病院看護管理者への期待」福井県立大学 2017. 12. 4 講師 みさわクリニック院長 三澤利博 32名参加 6. 「看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて」福井県立大学 2017. 9. 1

講師 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 川本利恵子 37名参加
 (看護福祉学研究科看護学専攻学生、看護福祉学部教員等対象)

上記の公開講座に福井県内外の看護部長や看護師や学生が参加。

【2018年】

1. 「データで読み解く病院経営 ―赤字と黒字経営はここが違う―
 福井県立大学多目的ホール 2018. 7. 26
 講師 株)日本経営 常務理事 銀屋 創 福田暁子
 福井県内外の看護部長や看護師や学生が参加 47名参加
2. 「組織管理論・人材管理論 ―看護の専門性の探求―
 福井県立大学看護福祉学部棟 406 2018. 7. 6
 講師 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 川本利恵子 12名参加

【2019年】

1. 「「数字で読み解く病院経営」福井県立大学多目的ホール 2019. 7. 11
 講師 福井県立大学 名誉教授 船橋健二
 福井県内外の看護部長や看護師や学生が参加 82名参加
- ② 社会人・高校生向けの講座 (タイトル名、開催場所、開催日時)
 「老いても人生を楽しく 社会情勢からそのヒントを探る」
 福井県立大学図書室 2019. 11. 13

③ その他 (名称、活動場所、活動期間)

(3) その他 (個人の資格で参加している社会活動等

(活動内容、主たる活動場所、活動期間)

6. 大学の管理・運営

(1) 役職 (副学長、部局長、学科長)	
(職名、期間)	
学部長	(2017. 4～2019. 3)
研究科長	(2017. 4～2019. 3)
理事	(2019. 4～ 現在)
(2) 委員会・チーム活動	
(名称、期間)	
【2017年～2019年】	
人権擁護・個人情報保護委員会委員長	(2017. 4 ～ 2019. 3)
学生支援委員会委員長	(2017. 4 ～ 2019. 3)
教育研究審議会	(2017. 4 ～ 2019. 3)
部局長会議	(2017. 4 ～ 2019. 3)
大学院委員会	(2017. 4 ～ 2019. 3)
研究公正委員会	(2017. 4 ～ 2019. 3)
地域連携本部	(2017. 4 ～ 2019. 3)
入試試験本部	(2017. 4 ～ 2019. 3)
看護福祉学部教授会議 運営	(2017. 4 ～ 2019. 3)
看護福祉学部研究科会議 運営	(2017. 4 ～ 2019. 3)
看護学科教員選考委員会 運営	(2017. 4 ～ 2019. 3)
社会福祉学科教員選考委員会 運営	(2017. 4 ～ 2019. 3)
看護福祉学部教員評価委員会 運営	(2017. 4 ～ 2019. 3)
看護福祉学部研究費審査委員会 運営	(2017. 4 ～ 2019. 3)

キャリアセンター会議 委員	(2015.4 ~ 2017.3)
看護学科倫理委員会小委員会	(2015.4 ~ 2017.3)
看護学科高度実践看護師養成 WG	(2015.4 ~ 2017.3)
看護学科教員選考委員会 (基礎・成人)	(2016.6 ~ 2017.3)
看護マネジメント学委員会	(2016.10 ~ 2017.6)
看護学科カリキュラム検討委員会	(2015.9 ~)
看護福祉学部教授会議	(2015.4 ~)
看護福祉学部研究科会議	(2015.4 ~)
看護学科会議	(2015.4 ~)
看護教員会議	(2015.4 ~)
看護専攻会議	(2015.4 ~)
公立大学法人 福井県立大学理事会議	(2019.4 ~)
大学院看護学専攻 (博士後期課程) 設置 PT	(2019.9 ~)
(3) 学内行事への参加	
(行事名、参加日時)	
【2017年】	
入学式	2016.4.7 BBQ会
オープンキャンパス	2016.8.6
大学祭	2016.10.14 白樺際
学位授与式	2017.3.23
【2018年】	
入学式	2018.4.6 BBQ会
オープンキャンパス	2018.8.5
大学祭	2018.10.27 白樺際
学位授与式	2018.3.25
【2019年】	
入学式	2018.4.5 BBQ会
オープンキャンパス	2018.8.4
学位授与式	2018.3.23
(4) その他、自発的活動など	
(活動名、活動内容、活動期間)	